

業務用 魚焼き、万能焼器

取扱説明書





取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。







安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「損害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 禁止  接触禁止  分解禁止	「してはいけない」内容です。
 発火注意  高温注意	「発火、高温等に対する注意を喚起する」内容です。
 指示	「実行しなければならない指示」内容です。

ガス機器の誤った使い方は、火災の原因になります。以下の注意事項をよくお守りください。

問題別索引

1. バーナーに火が引火しない、引火しても赤い火ですずが出る。

空気調節を確認⇒P8

2. 何本かあるバーナーのうち、1、2本の火力が弱い。または、火がでない。

ガス量と空気量のバランス確認⇒P8

バーナーの清掃⇒P9

ノズルの清掃⇒P9

もくじ

■各部の名前……………2

■安全上のご注意……………3～5

① ガス種の確認……………3

② ガス接続の注意点……………3

③ 設置場所と可燃物……………4

④ 喚起方法と風対策……………5

⑤ 火災予防・ガス事故防止……………5

⑥ やけど事故防止……………5

■ご使用方法マニュアル…6～8

① 部品の取り付け……………6

② 基本操作

 点火の手順……………7

 火力調整……………8

 空気調整……………8

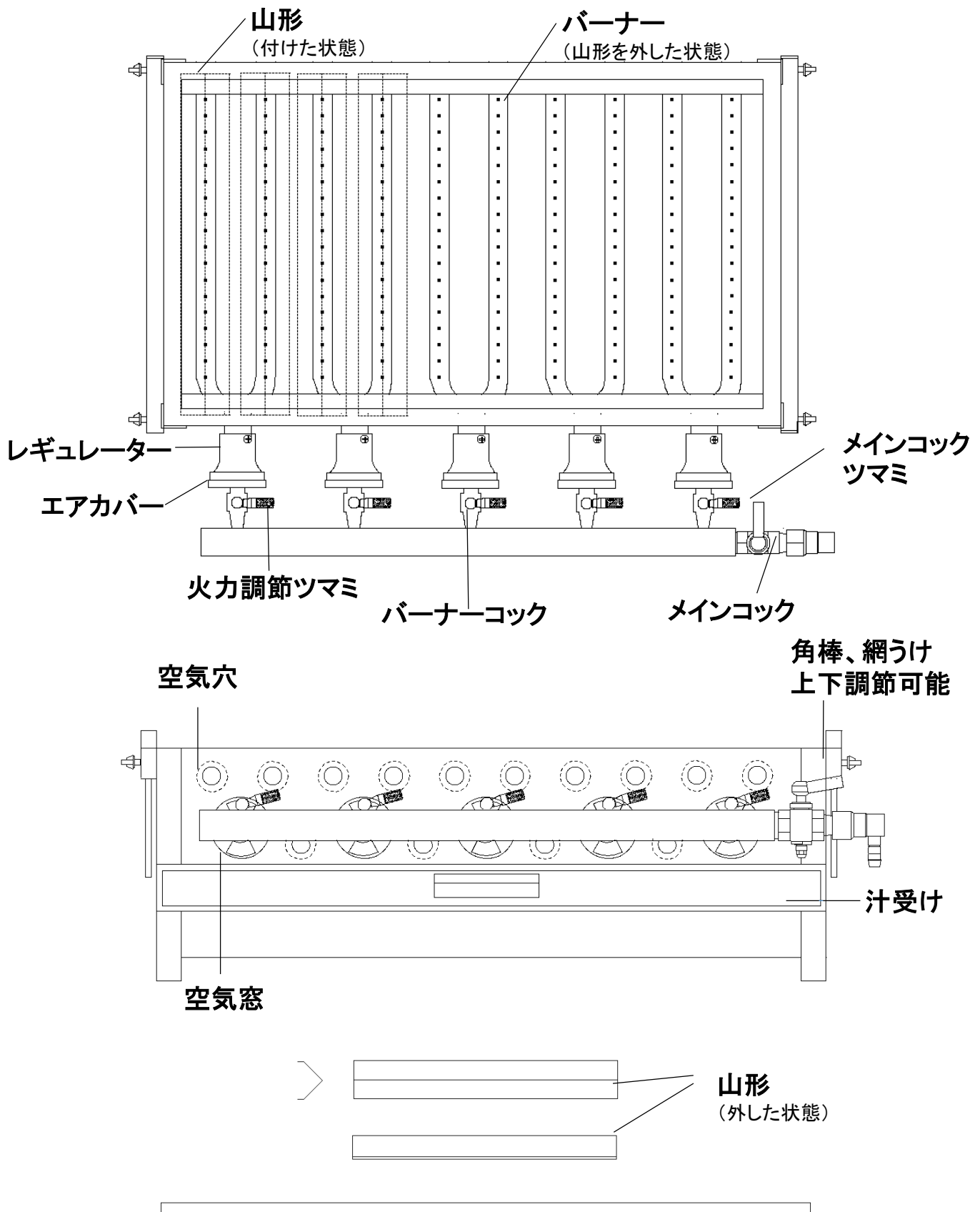
■お手入れマニュアル…9

 バーナーの清掃方法……………9

 ノズルの清掃方法……………9

■アフターサービス

■各部の名前



■安全上のご注意



警告 ご使用開始にあたって事前にガス種とガス接続をご確認ください。



指示

【プロパンガスと表示されたガス機器】

プロパン
家庭用・低圧調整器 専用
△中圧調整器 使用厳禁

低圧プロパンガス専用です。低圧のガス圧調整器（図1）の付いたLPガスボンベに接続してご使用ください。中圧、高圧のLPガスボンベに接続するとガス漏れをおこして、ガス機器が使えなくなるのでご注意ください。屋内で使用する場合は、ヒューズガス栓（図2）のついたガス栓に接続してください。接続は、プロパンガス用ガスホース（9.5mm）で行ってください。

（図1）



指示

【天然ガスと表示のあるガス機器】

天然ガス

12A、13Aのガス種の都市ガス専用となります。12A、13Aの以外のガス種では使用できません。ガス種はガス会社にお問い合わせください。

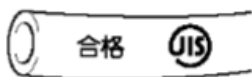


警告 ガスホースを適切に接続しなかった場合、ガス漏れの恐れがあります。



指示

- ・ガスホースを接続はするときは、全てのコックおよびガス元栓を閉じたことを確認してから行ってください。
- ・ガスホースは検査合格マークまたは、JISマークの入っているものを使用してください。ガス用ゴム管以外は、耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は、絶対に使用しないでください。



- ・使用開始直後は、ガスホース、ガスバーナー、ガスホース内に空気が入っている場合があります、火が付くまでに時差が生じる場合があります。
- ・ホースエンドの赤い線まで差し込んでゴム管をしっかり止めてください。また、留め具で必ずホースを固定してください。

赤い線まで差し込む





警告

設置場所付近に可燃物を置かないでください。



指示



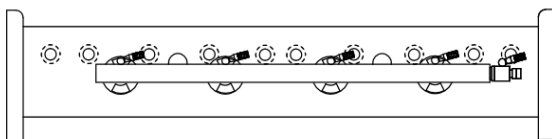
禁止

- 引火物（ガソリン、灯油、ガス、消毒用アルコール）などが近くにある場所は大変危険です使用しないでください。
- 食品舗装用の紙など燃えやすいものや熱に弱い者のそばでは使用しないでください。

引火物を近くに置かないでください。



発火注意



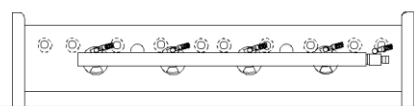
禁止



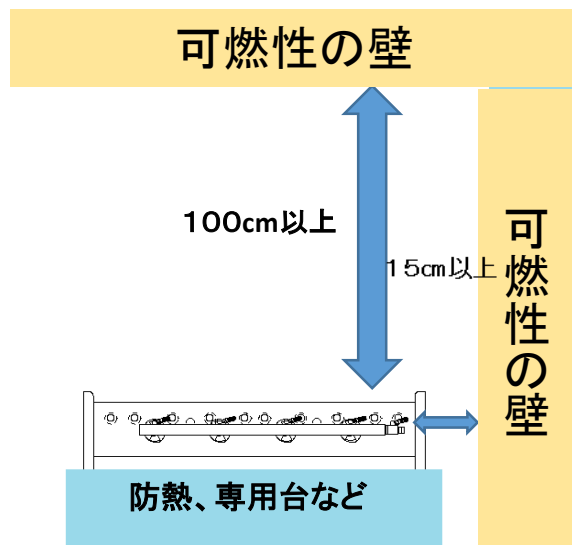
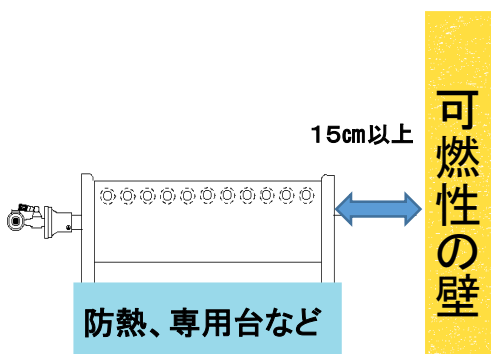
発火注意

- 消毒用アルコールは引火すると大変危険です。コンロから離れたところに置き、近くでは使用しないでください。
- **可燃性の壁**（防熱処理をされていない木製品、タイル、ステンレスなども含む）がガス機器の近くにある場合、必ず断熱処理を行ってください。低温火災の原因となる場合があります。
- 可燃性の壁がある場合は、必ず壁との距離を15cm以上、天井との距離を100cm以上開けてお使いください。
- 可燃性の台上で使用しないでください。反射熱で発火の恐れがあります。

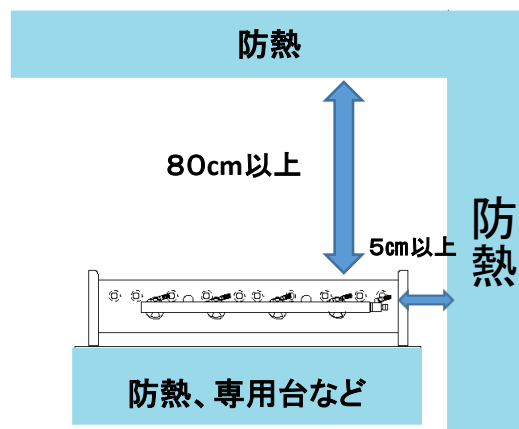
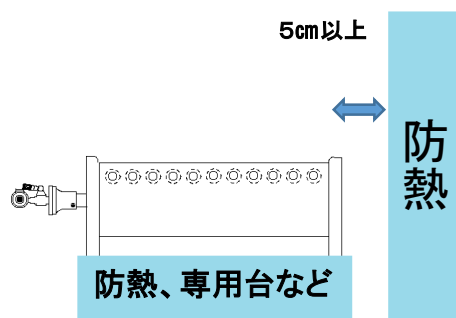
■ 可燃性の場合



可燃性(木など)の台上での使用禁止



■ 防熱処理されている場合



**警告**

屋内で使用する場合は必ず喚起して、空気を入れ替えてください。
屋外で使用する場合は、風にご注意ください。

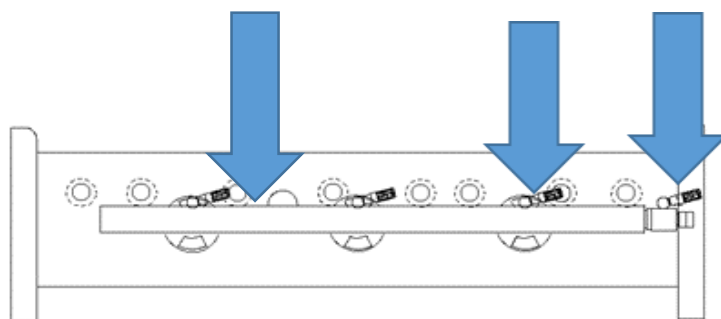
- 屋内で使用する場合は、必ず換気扇を回すか、窓を開けてください。換気をしていないと、不完全燃焼による一酸化中毒の原因になります。
- 強制排気が備え付けられている厨房の場合は必ず使用してください。
- 屋外で使用する場合、風が強い場所で使用はしないでください。風よけがなければ、火のコントロールはできません。

**警告**

ガス漏れは、火災やガス中毒などの重大事故の原因になります。下記の指示を必ず守ってください。

- ガス機器を使用中の厨房では、吹きこぼれ、ガスホースの踏みつけなど、意図しない原因で火が消えてしまうことがあります。常にガス機器の火加減とガスの匂いを意識し、燃焼状態を把握してください。
- ガスの匂いを感じた場合はガス漏れのおそれがあります。その場合は直ちに火器の使用を止め、ガスの元栓を閉めてください。すぐに換気をしてガスを外へ足してください。
- ガス機器からのガス漏れが原因の場合は点検修理を終えるまで使用しないでください。
- 火をつけたままガス機器のそばを離れたり、目を離さないでください。
- とろ火（小さい火）は自然に火が消えてガス漏れてしまう原因になるので、火は中火以下の大きさにしないでください。
- ガス器具の改造、本来の目的以外での使用は大変危険です。
- 前管、メインコック、コック部分にもたれかかったり、強い力をかけないでください。ガス機器からのガス漏れの原因になります。

もたれかかったり、強い力をかけるとガス漏れの原因になります。

**警告**

使用中、使用直後は器具全体が高温になっています。取り扱いには十分注意してください。

- 使用直後、使用中は調理部分だけでなく、ガス機器の全体が高温になっていますので必要などころ以外には手をふれないでください。
- バックファイヤー（レギュレーター内で火がついた状態）を起こしている場合は、ガスコック、エアカバー、前管、などの操作部分自体も熱くなる場合がありますので、操作する場合は注意してください。（やけど防止対策をしてから触れてください。）

■ご使用方法マニュアル

①部品の取り付け(前管の付け方)



前管の写真



ネジをゆるめてください

【手順2】前管を本体のバーナー先端に差し込んでください。バーナー先端がレギュレーター内の突起に軽く当たる程度で大丈夫です。



【手順3】前管のねじをしめてください。



【手順4】前管がバーナーに固定されているか軽く前管を引っ張ってください。固定されていない場合は、再度【手順1】からやり直してください。



■ご使用方法マニュアル

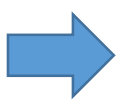
③基本操作 ⚠安全上の注意を理解したうえで操作を開始してください

●点火の手順

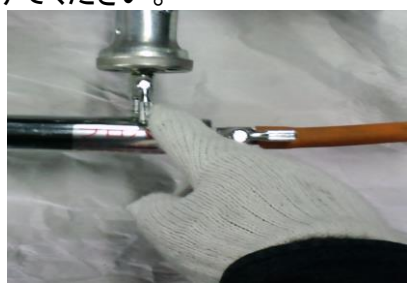
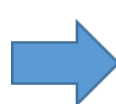
【手順1】ガス栓を開けてください。



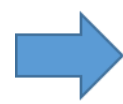
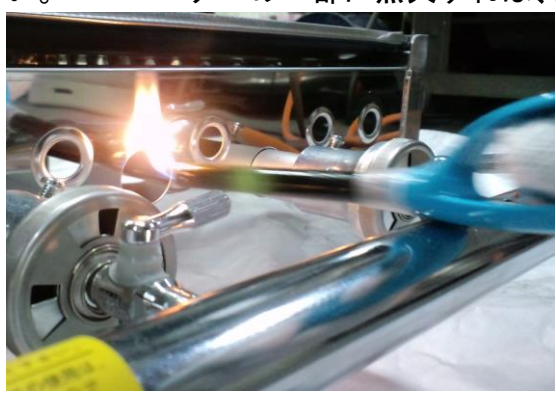
【手順2】メインコックのつまみを開けてください。



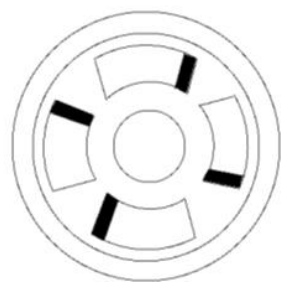
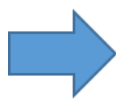
【手順3】点火したいバーナーの火力調節つまみを開けてください。



【手順4】点火窓、または空気窓に多目的ライター、別売りの点火棒を挿入して 点火してください。バーナーの一部に点火すれば、火はバーナー全体に走ります。



【手順5】火の走りが悪い場合は、レギュレーターを回して空気量を調整してください。締めていただくと火は走りやすくなります。



■ご使用方法マニュアル

③基本操作 ⚠️安全上の注意を理解したうえで操作を開始してください

●火力調整

【手順】火力調節ツマミを回して調節してください。火を小さくしすぎると、火の立ち消えの原因になります。点火窓から火の状態を確認してください。



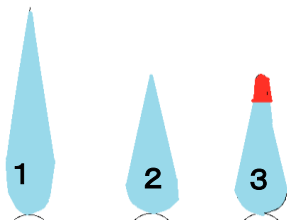
火力調整

●空気調整

【手順】火の状態により、空気調節が必要です。点火窓より火の状態を確認しながらレギュレーターを回してください。

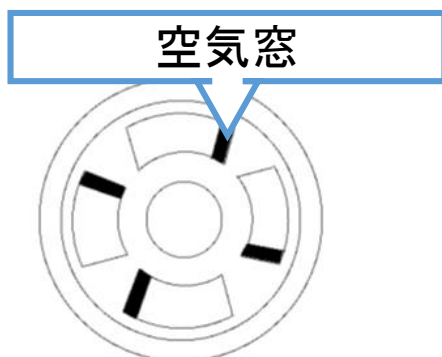
- 天然ガス(12A,13A)でお使いの場合は一割ほど空気窓を開けてから調節してください。開けすぎると火が飛んでしまいます。開けすぎないでください。
- プロパンガス(LP)でお使いの場合は、8割ほど空気窓を開けてから調節してください。閉めすぎるとススがでます。閉めすぎないでください。

空気調整



火の状態

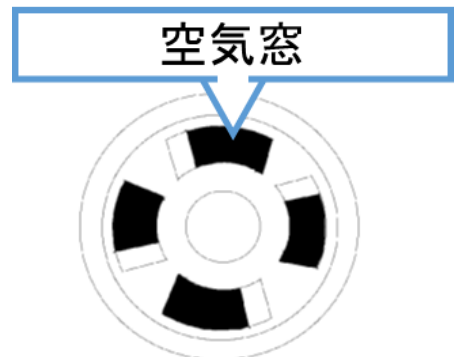
- 1 火がとがり、ポポーッと音を立てている
空気過多
- 2 火が青く、静かに燃えている
適正
- 3 火が赤く、揺らいている
空気過小



空気窓を閉めれば空気の量を減らすことができます。

天然ガス

天然ガス(12A,13A)をご使用の場合は、空気窓を上図のように1割ほど開けてから、微調整してください。



空気窓を開ければ空気の量を増やすことができます。



プロパンガス(LP)をご使用の場合は、空気窓を上図のように8割ほど開けてから、微調整してください。

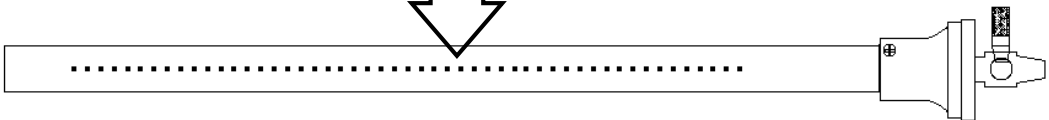
■お手入れマニュアル

●バーナーの清掃方法

油や材料がバーナーの上に落ち、火穴が詰まってしまった場合に清掃してください。

バーナー
清掃方法

細い針金などでつついて掃除してください。

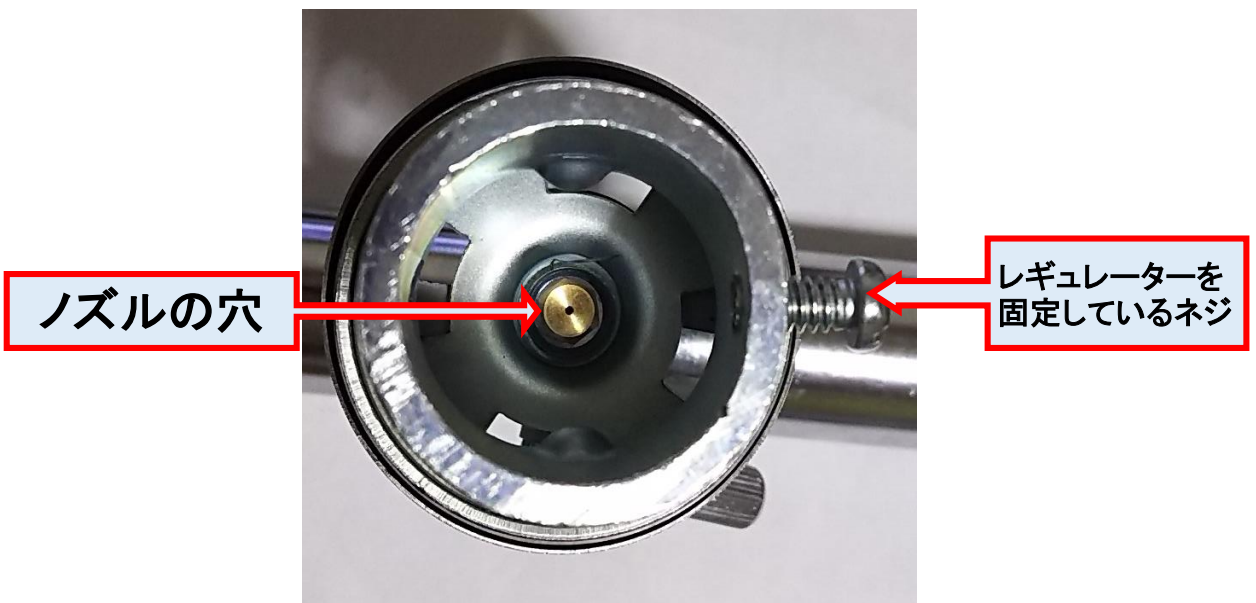


●ノズルの清掃方法

ご使用しているうちに、コック内部に油がたまりノズルが詰まってしまう場合があります。ノズルを清掃をしてチップ、コック内の油を取り除いてください。手順は下記の通りです。

ノズルの
清掃方法

- 【手順1】レギュレーターを固定しているネジをゆるめてから、前管を本体から外してください。
- 【手順2】コックを必ず開いた状態にしてください。(ノズル清掃の際にコックを傷つけないため)
- 【手順3】ノズルの穴を細い針状のものでつついて清掃してください。
- 【手順4】前管のねじを締めて固定してください。
- 【手順5】ガスの元栓をあげ、バーナーに点火してテストをしてください。
- 【手順6】火の出のよくない場合は、【手順1】に戻って再度ノズルの清掃をしてください。



※水洗いはしないでください。錆の原因になります。
※バーナー、ノズルの掃除を実施しても火力が回復しない場合、バーナー劣化などの原因が考えられます。新しいものと取り換えてください。